

クイックガイド

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。



改訂版①

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽傷、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）

禁止	強制
本機は、木を薪に加工する機械です。指定された用途以外には使用しないでください。	周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。	給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。	給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
エンジンが熱いうちは、給油しないでください。	給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。	給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。	燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。	燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
可動している部分の近くに手または足を入れないでください。	始動前点検を実施してください。

警告 (製品に係る安全事項)



禁止

改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。

正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。

未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。

成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、単独の使用をしないでください。

運転中に可動部(刃・ビーム等)に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。

運転中は絶対に薪を覗き込んだり、触れたりしないでください。

点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料の蒸気へ引火する恐れがあります。



強制

可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。

使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。

点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。

破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。

自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。



長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。

本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。



子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。



⚠️ 注意（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>古い燃料は使用しないでください。</p>	 強制	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
			定期的にエンジンオイルを交換してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
			シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			定期点検整備を行ってください。



⚠️ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	<p>身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。</p>	 強制	<p>硬いコンクリートの地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平で安定した場所に設置してください。</p>
	<p>運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。</p>		<p>運転中は、排気ガスに十分注意してください。</p>
	<p>動作中に刃やビーム（H鋼）に顔や手足を近づけないでください。</p>		<p>停止中でも、直接刃に触れないでください。怪我をすることがあります。</p>
	<p>ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。</p>		<p>エンジンの周りに、草や木クズなど燃えやすいゴミを蓄積させないでください。</p>
	<p>夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。</p>		<p>使用前にオイル漏れ、ネジの緩みや欠落した部品などが無いこと、ホースの亀裂・摩耗・破損等、各部に異常がないことを確認してください。</p>
	<p>足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</p>		<p>長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。</p>
	<p>地面が柔らかい不安定な場所で使用しないでください。</p>		<p>長い髪は束ね、帽子やヘルメットでカバーしてください。</p>
	<p>急傾斜地では使用しないでください。</p>		<p>適切な間隔で休憩をとってください。</p>
	<p>草地、砂利、その他柔らかい地面で使用しないでください。圧力をかけたときに本機が転倒したり、台座が破損したりして思わぬ事故につながる恐れがあります。</p>		<p>本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。</p>
	<p>気温が高い時の作業は避けてください。</p>		<p>危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</p>
	<p>燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</p>		<p>少しの移動でもエンジンを停止してください。</p>

⚠ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	車等で持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
	エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。		

⚠ 注意（作業に係る安全事項）

 禁止	エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。	 強制	作業前に刃、ビーム（H鋼）に曲がり、破損がないか、台座に亀裂や破損等がないか点検してください。
			作業中に木がビーム（H鋼）側に強く当たったり、割れに異常を感じた場合には、速やかにエンジンを停止し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
			すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
			万に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
			本機を長時間保管するときは、取扱説明書に従って保管してください。

各部の名称





梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. エンジン



B. ビーム/ シリンダー



C. タイヤ



D. ホイールスタンド



E. ガイドラック



F. ガイドラックスター



G. スタンド



H. ゴムブッシュ



I. キャリーハンドル



J. ロックピン



K. 割りピン



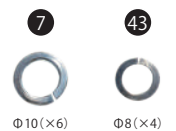
L. プラグレンチ

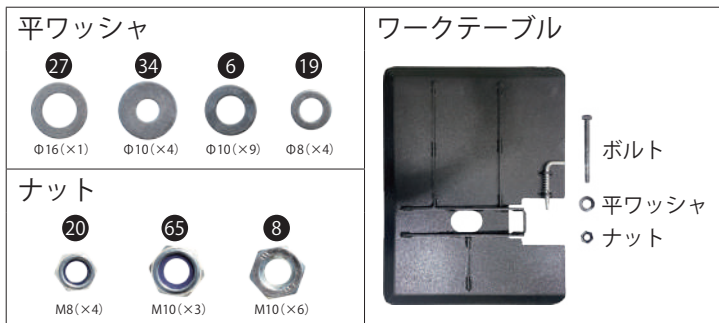


ボルト



スプリングワッシャー

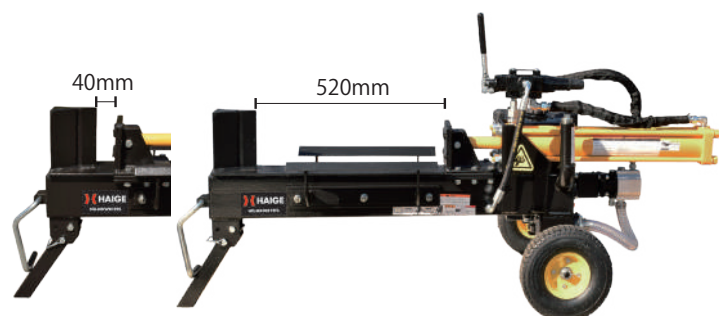




主要諸元

モデル名	HG-MKWR12TS
エンジン形式	空冷4ストローク
総排気量	196cm ³
始動方式	リコイルスターター
粉砕力	12トン
サイクルタイム	オートリターン13秒
最大薪割り長さ	500mm
薪割り可能直径	直径508mm以下
薪割り方向	横
ウェッジ (刃)	単刃
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	3.6L
エンジンオイル	SAE10W-30
オイルタンク容量	0.6L
作動油	32番
おすすめ作動油量	約5.5L
オイルポンプ圧	24.1MPa
互換点火プラグ	BPR7ES(NGK)

©弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



組立て

⚠注意

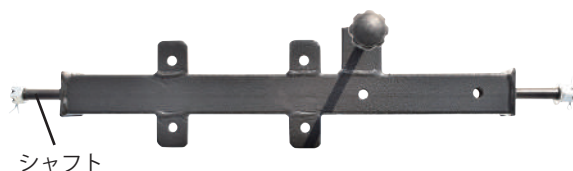
- 取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- 組立ては2人以上で行ってください。
- 組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- 平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

タイヤの取付け

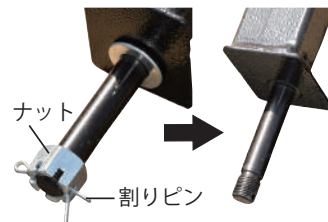
ホイールスタンドのシャフトにタイヤをはめます。プライヤーをご用意ください。

⚠注意

手袋を着用して作業を行ってください。



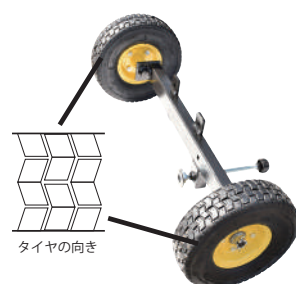
- 1 シャフトから割りピン、ナット、ワッシャを取外します。



- 2 タイヤをシャフトに通し、ワッシャ、ナットを取付け、割りピンを挿込み、抜けないように先端をプライヤーで曲げます。



- 3 反対側も同じ要領でタイヤを取付けます。

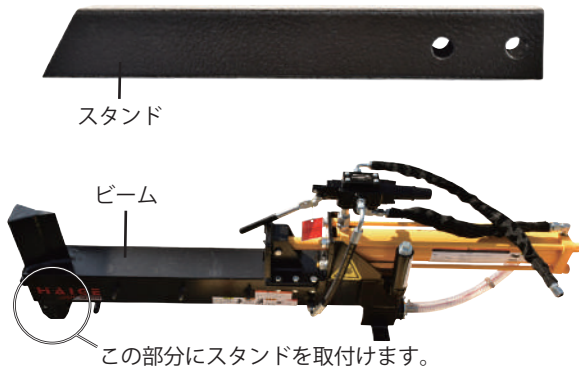


⚠️ 注意

ナットは強く締付けないでください。タイヤが回らないだけでなく、ベアリングの破損の原因になります。

スタンドの取付け

ビームにスタンドを取付けます。
16mmと17mmのスパナをご用意ください。



- 1 ボルト⑳と平ワッシャ⑥、ナット㉑で取付けます。
ボルトは16mm、ナットは17mmのスパナで共締めします。
※強く締め過ぎるとスタンドが歪みます。

- 2 下の穴にロックピンを挿込み固定します。



ビーム/シリンダーの取付け

ホイールスタンドにビーム/シリンダーを取付けます。16mmと17mmのスパナをご用意ください。

- 1 ホイールスタンドの取付穴とビーム/シリンダーの取付穴を合わせ、上からボルト⑥④を通します。



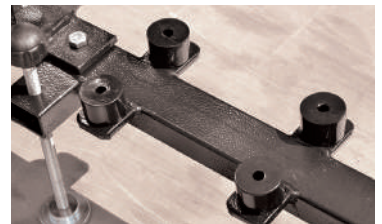
- 2 下から平ワッシャ⑥とナット㉑を取付け、ボルトは16mm、ナットは17mmのスパナで共締めします。



エンジンの取付け

ホイールスタンドにエンジンを取付けます。
13mmのスパナ2本をご用意ください。

- 1 ホイールスタンドのエンジン取付穴にゴムブッシュを乗せ、更に平ワッシャ③④を乗せます。



- 2 エンジンを写真の向きで乗せます。



- 3 ホイールスタンドのエンジン取付穴、ゴムブッシュ、平ワッシャとエンジンの穴を合わせます。



- 4 下からボルト⑥④を通し、上から平ワッシャ③④、スプリングワッシャ④③、ナット②①を取付け、13mmのスパナで共締めします。



油圧ホースの接続

油圧ホースをポンプに取付けます。
モンキーレンチ、六角レンチをご用意ください。

- 1 工場での試運転により、オイルが若干残っている場合があります。キャップを開けるとオイルが床に落ちることがありますので、事前にポンプ下にオイル受けや布などを置いてください。



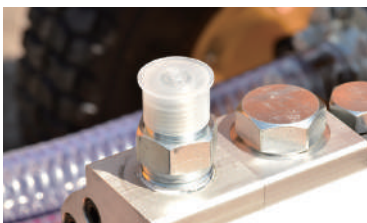
- 2 油圧ホース先端のキャップを取外しますが、ホース内にもオイルが残っている場合がありますので、オイル受けの上で作業を行うことをおすすめします。



- 3 モンキーレンチで油圧ホース先端のナットを押さえながら、先端のキャップを10mmの六角レンチで取外します。更に中のパッキンも取外します。(キャップ、パッキンは不要です)



- 4 ポンプ上部のキャップを取外します。



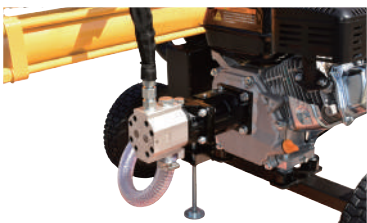
- 5 油圧ホースを接続し、ナットをモンキーレンチでしっかり締付けます。



- 6 ポンプ下部のキャップを取外します。



- 7 戻りホースを取付け、ホースバンドで確実に固定します。



ガイドラックの取付け

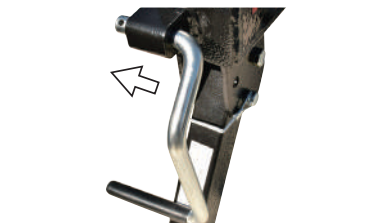
ビームに薪を支えるガイドラックを取付けます。
17mmスパナをご用意ください。

- 1 溶接の盛り上がり完全に穴に入るようにガイドラックステーをはめ、ガイドラックを取付けます。
- 2 平ワッシャ⑥、スプリングワッシャ⑦、ナット⑧の順で取付け、17mmのスパナで締付けます。



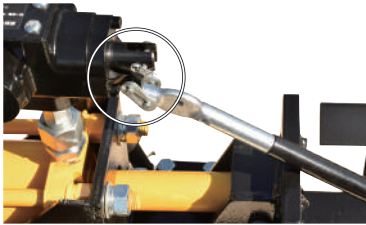
キャリーハンドルの取付け

- 1 ホイールスタンドの取付穴にキャリーハンドルを挿入します。
- 2 平ワッシャ⑫を通し、割リピンで固定します。

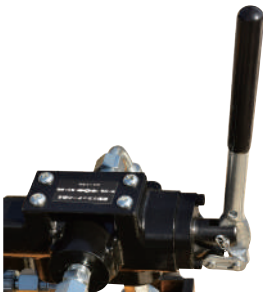


コントロールレバーの固定

- 1 コントローラに仮留めしているスナップピン、ピンを一旦取外します。



- 2 コントロールレバーの取付穴とコントローラの穴を合わせ、ピンを挿込みスナップピンで固定します。



ワークテーブルの取付け

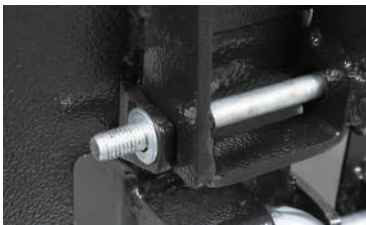
ワークテーブルを取付けることで、割った薪を更に割る場合に作業効率がアップします。必要に応じてワークテーブルを取付けてください。16mmと17mmのスパナをご用意ください。



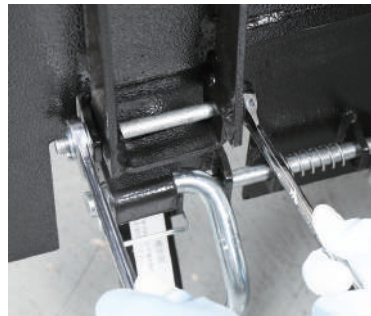
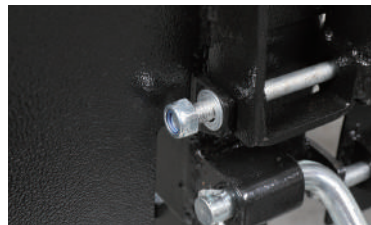
- 1 本体取付穴にワークテーブルの取付穴を合わせます。その際、ワークテーブルのロック棒を本体の穴にセットすると作業がしやすくなります。



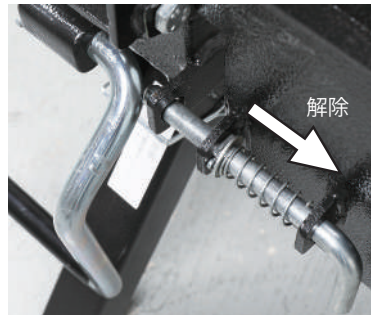
- 2 ボルトを通し、平ワッシャ、ナットを取付けます。



- 3 16mmのスパナでボルトを固定しながら、17mmのスパナでナットを締付けます。締付けが強すぎるとワークテーブルの可動ができなくなりますので、加減を見ながら締付けてください。



- 4 ワークテーブルを広げる場合は、ワークテーブルを片手で保持しながらロック棒を解除し、少しずつ倒します。戻す場合もロック棒を解除しながらワークテーブルを起こし、ロックをします。



運転前の点検

警告



禁止

- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時には、喫煙など火気を発生させないでください。



強制

- 燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- 燃料キャップは確実に締めてください。

注意



強制

- 燃料キャップは確実に締めてください。
- 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- 給油中、燃料タンク内に雪、水、ホコリが入らないように注意してください。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)
タンク容量	3.6L

- 2 燃料給油キャップを開け、少しずつこぼさないように給油します。



- 3 給油後、燃料キャップをしっかり閉めます。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.6L

- 2 本体を水平な場所に移動させます。

- 3 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。

- 4 エンジンオイルを給油します。

注意

エンジンオイルを入れる際に一度に規定量を入れてしまうと、エンジンテスト時のオイルが残っている場合がありオイルが溢れてしまうことがあります。オイルは一度に規定量を入れず、オイルゲージで確認しながら少しずつ入れてください。規定量入らなくても、ゲージで適量になっていれば大丈夫です。

- 5 オイル給油キャップを一旦締付け、再度取外します。

- 6 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)までであるか点検します。



- 7 確認後、オイル給油キャップを確実に締めてください。

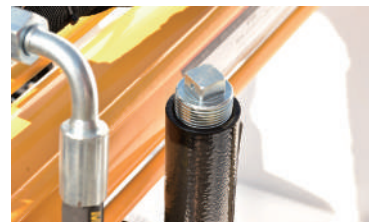
- 8 使用2回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

作動油の点検

作動油は出荷時には入っていません。

必ず給油してください。

- 1 本体を水平な場所に移動させ、作動油給油キャップをモンキーレンチで取外します。



- 2** 作動油を少しずつ給油します。この段階では作動油量は規定量には達しませんが一旦給油を終了します。



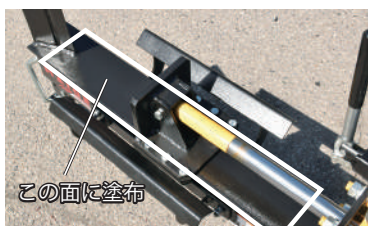
使用作動油	ハイドロリックオイル 油圧用オイル32番
おすすめ作動油量	約5.5L

- 3** 作動油給油キャップを閉めます。
- 4** エンジン始動（運転操作の仕方の「エンジンのかけ方」参照）後、コントロールレバーを2～3回操作しシリンダーを動かします。その後エンジンを停止します。初めて使用する場合、エンジンをかけると作動油が循環し、油圧システム全体に行き渡るため、作動油タンク内の作動油が減少しますので、作動油を追加給油します。

潤滑油やグリスの塗布

可動部分には、使用前に潤滑油やグリスを塗布する習慣をつけましょう。

- 1** ビーム上部にグリスを塗布します。



運転操作の仕方

警告

- 禁止**
- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
 - 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
 - エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。やけどをすることがありますので高温部に触れないでください。

- 強制**
- 本機はしっかりとした硬いコンクリートの地面もしくは、下に鉄板などを敷いた水平な場所に設置してください。
 - 硬いコンクリートの地面もしくは、下に鉄板などを敷いた状態で作業を行ってください。
 - エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
 - 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
 - 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

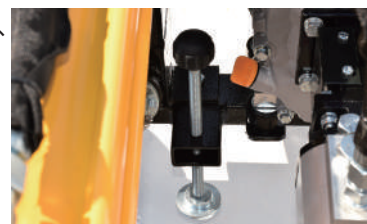
エンジンのかけ方

出荷時には燃料、エンジンオイル、作動油は入っていません。給油後に操作をしてください。

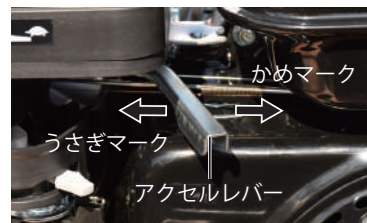
- 1** コントロールレバーがニュートラルにあることを確認します。



- 2** 本機を硬い地面に置き、後部サポートスタンドのノブを回し固定します。



- 3** アクセルレバーを、「うさぎ」と「かめ」マークの中間にします。



- 4** チョークレバーを左いっぱい（閉）にし、燃料コックを右いっぱい「ON」にします。



- 5** エンジンスイッチを「ON」にします。



- 6** リコイルスターターを引きます。

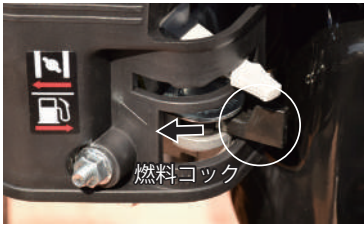


- 7** エンジンが始動し、チョークレバーを右（開）に戻し1～2分程度、暖気運転を行い、運転状況を確認します。

1 エンジンスイッチを「OFF」にします。



2 燃料コックを左いっぱい「OFF」にします。



👉 エンジンがかからない時

下記手順をお試しください。

1. 点火プラグキャップを取外します。
2. 点火プラグを外します。
3. リコイルスターターを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4. 点火プラグの先端をウエス等で拭き取ります。
5. 点火プラグを取付けます。
6. 点火プラグキャップを取付けます。
7. チョークレバーを右（開）にします。
8. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雪、氷、塩、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）

(11) 機能に影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。